

平成28年度 発達障害の可能性のある児童生徒等に対する早期・継続支援事業
(系統性のある支援研究事業)
成果報告書(概要版)

実施機関名 (埼玉県教育委員会)

1. テーマ

学校間の連携を推進し、適切に支援を引き継ぐ体制づくりを進めるとともに、関係機関との連携による支援のネットワークを強化し、切れ目のない一貫した支援体制を構築する。

2. 問題意識・提案背景

埼玉県では、小・中・高等学校の各学校段階における支援体制の充実に努めてきたところではあるが、各学校段階の支援内容等を進学時に円滑に引き継ぐ仕組みは確立しておらず、特に中学校から高等学校段階への進学時における円滑な支援の引き継ぎに課題があると考えられる。

中学校から高等学校への進学時における支援の引き継ぎについては、各学校によりその方法や内容等が異なることも多いことから、効果的な支援の引き継ぎ手法や体制を確立していく必要がある。

また、高等学校における個別の教育支援計画等の作成率は、小中学校と比較しても低く、支援の継続性を踏まえながら、個別の教育支援計画等の作成・活用を促進し、保健、医療、福祉、労働等の関係機関との連携体制も含めて、小中学校での支援内容を高等学校に着実につなげていく必要がある。

3. 目的・目標

特別な教育的支援を必要とする児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実にを図ることを目的に、本事業では、中学校と高等学校との組織的な連携のもと学校間の情報共有を推進し、適切に支援を引き継ぐ体制づくりを進めるとともに、保健、医療、福祉、労働等の関係機関との連携による支援のネットワークを強化し、就学前から卒業後までの切れ目のない一貫した支援体制を構築することを目標とする。

目標の達成に向け、適切に支援を引き継ぐための基礎となる個別の教育支援計画の活用は重要であり、本事業の取組を通じて、個別の教育支援計画の活用も含めた連携モデルを県内全体に普及し、個別の教育支援計画の作成率の向上を図る。

4. 主な成果

○中高連絡会の開催による学校間の情報共有

適切に支援の引き継ぎの流れを確立するため、中高連絡会を開催し、学校間での共通理解・情報共有を図った。中高連絡会では、進学時における支援の引き継ぎの現状

や課題を整理し、進学時に引継ぐ内容項目や引継ぎを行う時期を予め示すことで、計画的に支援の引継ぎを行うことにつながった。

○中高引継ぎシートの作成・活用

学校のニーズに合わせて中高引継ぎシートを作成し、進学時の引継ぎにおける活用を図った。特に、高校側でどのような情報を必要とするか予め様式を示すことで、中学校側が事前に必要な情報の準備を行うことができ、進学時に引継ぐ情報を効果的に共有することができた。

○研究報告会等の開催による教職員の理解推進

「支援をつなぐ」ことをテーマに研究報告会を開催し、全県の市町村教育委員会担当者、県立高校及び特別支援学校のコーディネーター等の参加のもと、切れ目のない支援体制づくりについて教職員の理解推進を図った。また、指定校では、地域レベルで、同一市内の小・中・高の教職員による合同研修会を開催し、ワークショップによる事例研究を通して、学校間の実態を把握しながら、支援をつなぐことの重要性への理解を高めることができた。

5. 指定校における取組概要

①持続的な引継ぎシステムを指向した個別の教育支援計画等の作成方法等の研究

- ・ 学校間連携コーディネーターが学校や関係機関等を巡回し、個別の教育支援計画等の活用状況の実態把握を行った。実態把握を行う中で、特に高校段階での活用が十分ではない状況があることから、高校側で必要とする情報に対応した様式の検討を行った。中高連絡会等での情報共有を進めながら、学校のニーズに合わせた「中高引継ぎシート」の様式を作成し、進学時に円滑に引継ぎができるよう活用を図った。
- ・ 学校間の情報共有を進めるにあたっては、キーパーソンとなる各学校の特別支援教育コーディネーターの連携が重要であることから、特別支援教育コーディネーター連携会議を開催し、学校間の連携の推進を図った。

②進学前後における適切な引継ぎ内容及び時期等の研究

- ・ 進学時における適切な引継ぎについて情報共有を図る場として、学校間連携コーディネーターを中心に中高連絡会を開催した。中高連絡会には指定校の管理職や特別支援教育コーディネーターが参加し、顔の見える関係づくりを進めるとともに、具体的な事例等を通して、進学時に引継ぐべき内容項目や引継ぎを行う時期等の共通理解を図った。
- ・ 中高連絡会での情報共有をもとに、「中高引継ぎシート」を活用しながら、3月下旬に指定校間で支援情報の引継ぎを行った。支援情報の引継ぎ時には、学校間連携コーディネーターが立会い、円滑な支援の引継ぎ方法についてサポートを行った。

③児童生徒本人及び保護者の同意を得つつ、引継ぎを実施する体制の整備評価手法

・ 個別の教育支援計画等の作成や児童生徒本人及び保護者の同意を得ることの必要性を含め、円滑に支援を引き継ぐ体制づくりを進めるため、「支援をつなぐ」ことをテーマに研究報告会を開催した。また、指定校では、地域レベルで、同一市内の小・中・高の教職員による合同研修会を開催し、円滑な支援の引継ぎについて、教職員の理解推進を図った。

6. 今後の課題と対応

○学校間の情報共有の充実
 中高連絡会を開催することで、顔の見える関係づくりを構築することは、学校間の情報共有を図るうえで有効な取組となった。一方、こうした関係づくりを広め、より多くの学校と情報共有することが高校側にとって重要となってくる。今後、対象となる学校や地域の拡充を図りながら、さらなる学校間の情報共有の充実を図りたい。

○中高引継ぎシートの作成・活用の推進
 学校のニーズに合わせて「中高引継ぎシート」の作成を行ったが、活用においては、まだ不十分な面も見られ、関係者間で共通理解が図られていないケースもあった。また、個人情報の取扱いについても十分留意する必要がある。今後も、連絡会等を通じて、理解促進を図るとともに、様式等の内容も精査し、より効果的に支援の引継ぎができるよう活用を推進する。

○教職員の理解推進
 研究報告会や研修会等の開催により、支援をつなぐことの重要性については理解が進んできているが、地域や学校によっては取組の差があり、教職員の理解も十分とはいえない状況もある。今後も、地域レベルでの実践的な具体例に基づく研修会や全県的に広く周知する報告会等を通じて、教職員の理解推進を図り、切れ目のない一貫した支援体制の構築に向けた基盤の整備・充実を図っていく。

7. 指定校について

【前在籍校】

(中学校①)

指定校名：新座市立第三中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数	学級数	
通常の学級	210		6		218		6		203	6	
特別支援学級	0		0		0		0		0	0	
通級による指導 (対象者数)	0		0		0		0		0	0	
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援 教員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	33	1	3	2	2	3	1	6	53

(中学校②)

指定校名：狭山市立西中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	197		6		205		6		226		6
特別支援学級	4		3		10		—		8		—
通級による指導 (対象者数)	0		0		0		0		0		0
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援職員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	33	1	0	1	3	0	1	12	53

(中学校③)

指定校名：狭山市立柏原中学校											
	第1学年				第2学年				第3学年		
	生徒数		学級数		生徒数		学級数		生徒数		学級数
通常の学級	90		3		104		3		103		3
特別支援学級	0		0		0		0		0		0
通級による指導 (対象者数)	0		0		0		0		0		0
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援職員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	17	1	1	1	3	0	1	9	35

【後在籍校】

(高等学校①)

指定校名：埼玉県立新座高等学校											
課程	学科	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年			
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数		
全日制	普通科	200	6	177	5	172	5				
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援職員	スクールカウンセラー	その他	計
教職員数	1	1	40	1	7	1	4	0	1	3	59

(高等学校②)

指定校名：埼玉県立狭山緑陽高等学校												
		第1学年		第2学年		第3学年		第4学年				
課程	学科				生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
定時制	総合学科				205	7	171	7	149	7	15	2
	校長	教頭	教諭	養護教諭	講師	ALT	事務職員	特別支援教育支援員	スクールカウンセラー	その他	計	
教職員数	1	2	48	2	15	0	6	0	0	5	79	

8. 問い合わせ先

組織名：埼玉県教育委員会

- (1) 担当部署 埼玉県教育局県立学校部特別支援教育課
- (2) 所在地 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1
- (3) 電話番号 048-830-6889
- (4) FAX番号 048-830-4960
- (5) メールアドレス a6880-06@pref.saitama.lg.jp